



がん相談における 院内連携

獨協医科大学病院
地域医療連携センター
がん看護専門看護師

岸田 さな江



病院の背景

- 病床数：1164 床
- 特定機能病院・がん診療連携拠点病院
3次救急指定 ・2010年Dr.ヘリ指定
- 緩和ケア病棟無
- 平均在院日数：11～14日/月
- がん相談窓口
 - ー 腫瘍センター → 地域医療連携センター
 - ・事務：6名 ・MSW：6名 ・看護師：5名
- がん相談担当：がん看護専門看護師
MSW 6名（基礎研修終了）
- 看護外来（がんサロン）
専門・認定看護師

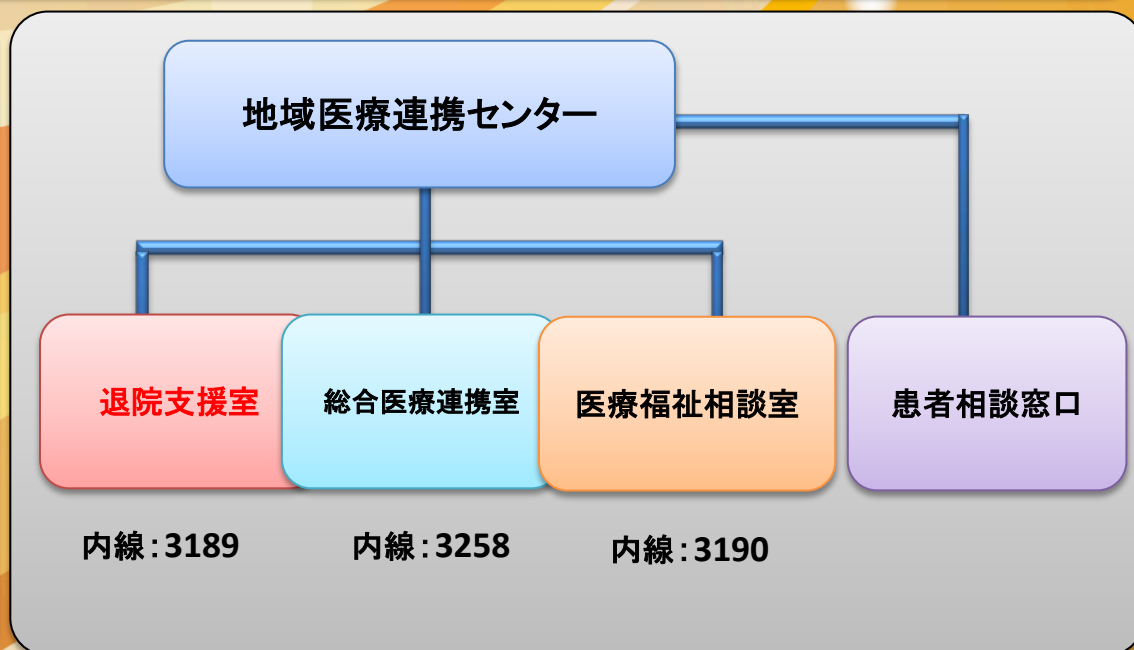




地域医療連携センターの開設

平成25年4月より、連携医療部・医療相談部・訪問看護部門を組織統合し、地域医療連携センターを開設致しました。看護師・医療ソーシャルワーカー・事務職が協働して業務を遂行して参ります。

- 退院支援・調整業務
 - 在宅・訪問看護
 - 在宅サービス調整業務
 - 神経難病相談・支援業務
 - **がん相談業務**
 - 地域医療機関との連携
 - 医療福祉相談業務
 - 患者相談窓口業務
- など



従来、腫瘍センターが担っておりました「がん相談支援業務」が平成25年4月より地域医療連携センターへ業務移行となりましたので、御相談・御依頼は退院支援室(内線:3189)にお願い致します。

院内連携事例

Case 1: 治療の選択

相談者: 院内患者
相談の理由: 「治療をやめたい」
相談方法: 面談
他職種・他部門との連携
— 薬剤部: 外来薬剤師・窓口
— 外来: 医師・看護師
— 地域: 訪問看護

Case 2: 日常生活の困りごと

相談者: 院内患者家族
相談理由: 主治医が困っている
ことがあると思い紹介
相談方法: 面談
他職種・他部門との連携
— 医療福祉相談室: MSW
— 外来: 医師・看護師
— 地域: 開業医

- 患者・家族の同意を得る(共有する内容)
- 専門職の特徴を活かせるように、尊重し1人で頑張らない
- 結果をフィードバックする
- がん治療のプロセスを重視(タイミング等)





がん治療の経過

診察、診断の不安

手術への不安

病名告等の心理的衝撃

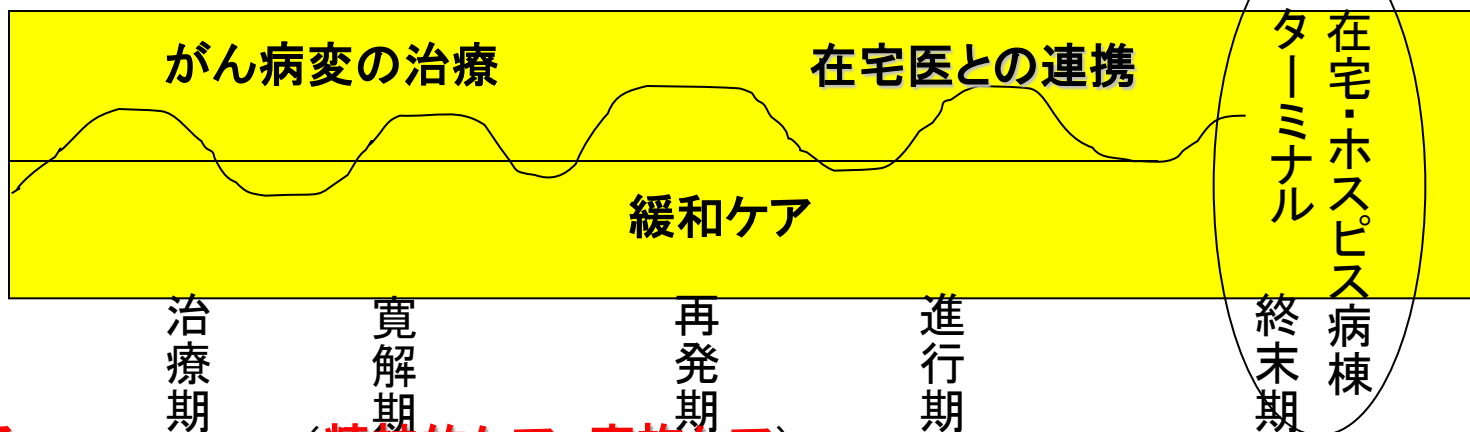
積極的治療中止の衝撃

再発・転移、病状の悪化・死の不安

化学療法・放射線療法・ホルモン療法

日常生活・社会への適応

現在



がん病変の治療

在宅医との連携

緩和ケア

治療期

寛解期

再発期

進行期

終末期

在宅・ホスピス病棟
ターミナル

セクシャリティ・ボディイメージの心理的影響

グリーンケア

